

いつでもどこでもだれでもできる人間関係づくり活動モデル

小学校（3・4年生）

4月

どんな学級にする？

年度初めであり、お互いの名前や特徴を知り合うことが中心となる。「楽しく、なかよく、安全に、一生懸命」することを全員で共通理解し、年間の学級目標（テーマ）づくりやルールづくりをする。

活動の実際

＜AHA体験＞ フィンガーソーセージ	
活動内容	支援及び留意点
①両手の人差し指をだす。 ②人差し指の先を合わせて、目の前にもってくる。 ③指先をじっと見ていると、おいしそうなソーセージが浮かんでくる。	○腕を伸ばすくらい距離をとった方が見やすい。
＜発展＞ ○目標になる物を準備（決める）して、そこから視点をそらさないように支援する。 ○指を心持ち離すと、ソーセージが空中に浮かび上がる。	
＜比喻（メタファー）＞ ○見たい物の先にある目標を見失わないと、今見たい物が見えてくる。 GOAL（目標）を持つことはすごく大事。	

みんなおに	
準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
①適当な範囲を決めて分散する。 ②1人ひとりがオニなので、先にタッチされたらその場に座る。 ③人数が少なくなった終了する。	○原則的には危険防止と体力差解消のために、走らずに行う。 ○場所が広い場合や危険性がない場合は、走ってもよいことにする。 ○人数が多くても、短時間で終了する。
＜発展＞ ○座っている者のうち、手を挙げて意思表示をしている者は、生き残っている人にタッチされると生き返る「行き返り」ルールを適用すると長い時間でも楽しめる。 ○手を挙げて「助けて」と声を出すことにする。	
＜ふりかえりの視点＞ ○何人助けた？ ○助けられたとき、何を感じた？	



ネームターン	
準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
①全員が輪になる。 ②それぞれ向きを変える方向を決めておく。 ③リーダーの合図（例「ジャンプ」）で、全員が同時に軽く飛び上がり、右か左	

- に向きを変える。
 ④向き合った者同士は、握手をして挨拶をする。
 ⑤リーダーの合図（例「シャッフル」）で場所を入れ替わる。
 ⑥これを繰り返す。

- 向き合えず、出会えなかった者の気持ちに配慮する。
 ○となり以外の場所に移動する。

<発展>

- 出会えた喜び、出会えなかった者の悲しみを、徐々に大きく表現する。
 ○シャッフルはリーダーの合図無しで行う。

<ふりかえりの視点>

- 出会えた喜び、出会えなかった悲しみを感じられた？
 ○左右の人を見て、方向を決めた？



ハンドクラッピング

準備物 なし

活動内容

支援及び留意点

- ①全員が輪になる。
 ②隣同士の右手と左手を使って拍手をする。
 ③小さな音からだんだん強くしていく。
 ④リーダーがパターンを決めてやってみる。

- 長時間になると手が痛くなる。
 ○活動の終わりなどに使うと効果的である。

<発展>

- 三三七拍子や三本締めなどパターンを参加者が決める。
 ○手以外の部分で行う。

<ふりかえりの視点>

- 自分で拍手するときより痛いのはなぜ？



目標づくり

準備物 模造紙、カード、カード記入用ペン

活動内容

支援及び留意点

- ①模造紙に二重円を描く。
 ②円の外側にお互いに大切にしたいことをカードに書いて貼り付けていく。
 ③内側と外側の円の間に、どんな学級したいかを書く。
 ④円の内側には、「楽しい学級」などの目標(テーマ)を決める。

- 貼り付ける際に一人一人が大切にしたいことを、全員に言えるとよい。
 ○カードは途中ではがれないように、しっかりと貼り付ける。
 ○意識できるように、いつも目につくところに貼っておく必要がある。

<発展>

- ツリーのように立体にしてもよい。
 ○モビールののように、天井からぶらげてもよい。

<ふりかえりの視点>

- 大切にしたいことは自分にとってわかりやすいですか？
 ○目標は自分たちにとって、できそうですか？